令和2年度　事業報告書

県民活動や生涯学習の支援、高齢者の社会参加の推進、高齢者の就業促進に資する事業を実施しました。

1　県民活動の支援に関する事業

実施事業	R2年度（計画）		R2年度（実績）	
	回数等	人数等	回数等	人数等
（1）県民活動支援のための講座開催 ア　NPO活動などの県民活動を支援する事業 県民活動を支援するため、NPOの運営に必要な知識を学ぶ講座や、NPO活動・市民活動を体験する講座、地域づくりの手法を学ぶ講座等を実施した。 ▽NPO基礎講座 ▽シニア共助担い手マッチング事業	11回	560人	8回	355人
イ　ボランティア講師を養成する講座 仕事や生涯学習の成果として培った知識、技能を生かし、生涯学習ボランティアとして地域で活躍できるよう、ボランティア講師を養成し、資質の向上を図るための講座等を実施した。 ▽市民講師塾 ▽まなびあいセミナー ▽市民講師協働講座 ▽市民講師スキルアップセミナー ▽市民講師交流会 ▽市民講師活動支援事業	39回	760人	19回	395人
ウ　いきいき生活講座 県民の多様な学習要求に応えるため、ITや文化教養、趣味に関する講座を実施した。 ▽心を豊かにする公演事業 ▽情報化対応力支援講座 ▽学びを深め学びを活かす講座 ▽暮らし創り応援講座 ▽現代的課題講座 ▽地域探訪講座	104回	4,980人	29回	949人
（2）団体活動支援事業 ア　県民活動団体支援事業 活動団体と協働で事業を実施するなど、活動団体の活性化を支援した。 ▽NPO協働事業「けんかつ名作シネマ館」 ▽登録団体支援事業	16回	640人	11回	304人
イ　次世代育成支援事業 子育て支援団体等と連携して、親子が気軽に参加できる交流会や子ども向け遊び体験学習等を実施した。 ▽子育て支援団体協働事業	10回	300人	10回	166人
（3）彩の国市民活動サポートセンターの運営 NPO活動、市民活動を支援するための相談、情報提供等を実施するとともに、県内市町の市民活動サポートセンター関係者を対象に、情報・意見交換、研修会を実施した。 ▽NPO・ボランティア相談コーナーの運営 ▽NPO税務会計相談会 ▽埼玉市民活動サポートセンターネットワークの運営	通年	―	通年	―
（4）情報センターの運営 県民活動に関する図書・資料を収集・提供するとともに、生涯学習・県民活動に関する企画展示を実施した。	通年	―	通年	―
（5）けんかつグランドフェスタの開催 彩の国いきいきフェスティバルとして開催していた県民活動団体の発表・交流の場、全館イベントと併せて、センター30周年記念事業を「けんかつグランドフェスタ」として開催する予定であったが、コロナ禍により事業を見直し、ボランティアに関する講演会や動画作成・配信を行った。	1回	20,000人	1回	187人

（6）埼玉県県民活動総合センターの運営 県民活動総合センターの指定管理者として、施設を適切に維持管理し、県民の利用に供した。また、各種広報活動や利用促進イベントを実施した。（コロナ禍により施設の休館・利用制限、イベントの中止・規模縮小）	通年	750,000人	通年	221,291人
▽県民活動団体等への貸出	通年	―	（休館・利用制限）	
▽保育サービス運営	通年	―	通年	―
▽広報紙「けんかつ」の発行	12回	各12,500部	10回	各12,500部
▽ホームページ、SNSの運営、メールマガジンの発行	通年	―	通年	―
▽地元自治体、公的団体等との連携	通年	―		
けんかつグランドフェスタ〈再掲〉			（開催方法見直し）	
けんかつサマーフェスティバル			（中止）	
けんかつ鉄道フェア			（中止）	
大学連携講座			（オンライン開催）	
企業等連携講座			（中止）	
けんかつグリーンスクール（おさらい教室）			通年	
けんかつひる市			（中止）	
けんかつレンタサイクル			通年	
（7）NPO活動促進助成事業 埼玉県NPO基金を活用したNPO法人への助成金交付に係る審査事務等を行った。	通年	―	通年	11団体
（8）附帯サービス事業【収益事業】				
ア　飲食等提供事業 利用者サービスの向上のため、飲食等の提供を行った。 ▽県民活動総合センター内での食堂・売店・自動販売機の運営	通年	―	通年	―
イ　駐車場の管理運営 利用者サービス向上のため、駐車場の運営を行った。 ▽県民活動総合センターの駐車場の管理運営	通年	―	通年	―
ウ　キャリアアップ支援講座開催 専門的知識やスキルを習得し、キャリアアップに役立つ講座を開催した。 ▽活躍支援講座	8回	170人	3回	36人
エ　埼玉の魅力発信コーナー及びコピーコーナー運営事業 埼玉にゆかりのある企画展示や県産品の紹介・販売を行い地域の魅力を発信した。 各種資料づくりに役立つコピー機、印刷機、製本機、紙折機等を設置した。 ▽埼玉の魅力発信コーナー ▽コピーコーナー運営事業	通年	―	通年	―
オ　その他、利用者の便宜を図るためのサービス	通年	―	通年	―

2　高齢者の生きがいづくりや地域参加及び地域貢献の促進に関する事業

実施事業	R2年度（計画）		R2年度（実績）	
	回数等	人数等	回数等	人数等
（1）埼玉未来大学の運営 高齢者の元気・自立を支援し、地域の担い手となるシニアを育成するため、彩の国いきがい大学を刷新し、新たに「埼玉未来大学」を開講した。				
新 ア　ライフデザイン科 健康長寿の実現と社会参加の促進を図ることを目的に、高齢者のニーズに沿ったカリキュラムやシニアの社会参加意識の醸成を図る体験型講座が特徴のライフデザイン科を運営した。 ▽前期課程【４～９月】4学園（春日部・川越・熊谷・伊奈） ▽後期課程【１０～３月】5学園（春日部・川越・川口・嵐山・伊奈）	9学園	940人	6学園 前期課程：すべて中止 後期課程：熊谷を追加して6学園で実施	317人
新 イ　地域創造科 志あるシニアを徹底支援するとともに、地域の担い手育成を目的に、社会デビューに直結する高度で専門的なカリキュラムが特徴の地域創造科を運営した。 ▽アクティブコース ▽地域ビジネスコース ▽選択講座（レクリエーション介護士2級講座、コミュニティカフェ開設講座、地域トラベルサポーター養成講座、こどもの居場所づくり大学）	2コース 4講座	365人	2コース 4講座	159人
（2）高齢者いきがい支援事業の運営 ア　健康セミナー 高齢者の健康づくりを支援するため、専門家による健康増進に関するセミナーを開催した。	1回	80人	1回	99人
イ　介護予防のためのシニアレクリエーション実践者セミナー 高齢者の体力や認知能力の維持に係る職業や仕事をしている方を対象に、効果的な運動やレクリエーションの手法を学ぶ機会を提供し、地域での指導者を養成した。	4回	160人	4回	136人
（3）情報誌発行 高齢者の生きがい、健康づくり及び社会参加活動に役立つ情報を提供する情報誌を発行した。	4回	ー	4回	ー
（4）いきいき創作展の開催 絵画や写真など、高齢者の日頃の文化創作活動の成果を発表する場を提供した。	4日間	ー	オンライン開催（43日間）	
（5）全国健康福祉祭埼玉県選手団の派遣 高齢者の国体と呼ばれる第33回全国健康福祉祭（ねんりんピック）ぎふ大会に埼玉県選手団を派遣する。（コロナ禍により1年延期）	4日間	136人	（開催延期）	

3　就労意欲のある高齢者の雇用・就業及び能力活用の促進に関する事業

実施事業	R2年度（計画）		R2年度（実績）	
	回数等	人数等	回数等	人数等
（1）就業機会の提供				
ア　活動拠点の支援等				
▽シルバー人材センター事業を展開・拡充するための情報提供や助言を行った。	通年	―	通年	―
▽活動拠点に対し、国庫補助金（連合交付金）を交付した。	58団体	781,658千円	58団体	786,217千円
イ　広域的受注調整事業 就業場所が複数地域に渡る仕事の依頼に対し、各活動拠点と調整を図り、就業機会の確保につなげた。	通年	―	通年	―
ウ　福祉・家事援助サービス推進事業 本事業に従事するコーディネーターや会員の養成や育成を図った。	1回	―	1回	―
エ　労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施 請負になじまない仕事を新たな就業機会として確保するため、シルバー派遣事業を行った。	通年	―	通年	―
▽運営会議	5回	―	2回	―
▽実務者研修	2回	―	2回	―
▽会員研修	8回	―	9回	―
▽派遣システム研修	2回	―	2回	―
▽衛生管理者試験対策研修	1回	―	1回	―
オ　有料職業紹介事業の実施 雇用を希望する高齢者に職業を斡旋した。	通年	―	通年	―
カ　高齢者活躍人材確保育成事業 シルバー人材センターの理解を深めてもらうことで、新規会員の獲得やシルバーを利用する企業の増加を図った。				
▽広報紙やメディア等による周知・広報	通年	―	通年	―
▽清掃や障子張り替え等の就業体験	60回	―	37回	―
▽保育や介護等の技能講習	16回	―	16回	―
（2）シルバー人材センター・高齢者事業団の支援				
ア　各シルバー人材センターの役職員に対する研修 法人運営やシルバー人材センター業務に関する知識、企画力の向上を図るため必要な研修を行った。				
▽基本研修、専門研修、交流研修 ▽フレイル予防研修	20回	―	15回	―
イ　団体運営、事業運営、会計処理等に関する相談 専門家による相談窓口を設置し、業務上の問題に対応した。				
▽巡回相談	20回	―	19回	―
▽弁護士相談、会計相談、社会保険労務士相談、税理士巡回相談、シルバー派遣事業相談 相談員による個別相談窓口の設置	通年	―	通年	―
ウ　会員、就業機会の拡大に向けた普及啓発 財団広報媒体やシルバー人材センター連合のホームページ等を活用し、会員募集や仕事募集の広報を行った。				
▽情報誌発行	4回	―	4回	―
▽広報紙発行	12回	―	12回	―
▽普及啓発月間	10月	―	1月～3月	―
▽シルバー人材センターイメージアップの推進	通年	―	通年	―
新　▽埼玉未来大学学生への入会促進	通年	―	通年	―
エ　安全・適正就業会議、研修、大会の開催 就業中の事故防止のため、職員や会員を対象とした研修や安全指導を実施した。				
▽安全・適正就業推進会議、安全・適正就業研修、安全就業推進大会、安全指導	6回	―	6回	―
オ　シルバー人材センター等運営資金貸付事業 運営資金に余裕がないセンターに対し、短期間の貸し付けを行った。	22団体	140,000千円	21団体	131,000千円
（3）シルバー・ワークステーション運営事業 介護や保育、小売りなどの人手不足分野を中心に派遣先を開拓し、シニアの働く場の拡大を図った。	通年	―	通年	―
（4）諸会議の開催 シルバー人材センター連合の運営上、必要な会議を開催した。				
▽連合会議、連合理事会、事務局長会議、ブロック幹事会	6回	―	6回	―